

其來大甲野火甲野
也續為其福其福
國師子為福其福
世乙陽于止于止
年其部步

漱石全集
第二十五卷

日記
及
斷片
中

昭和三十三年五月二十七日 第一刷發行 © 漱石全集 第二十五卷

定價 一五〇圓

著者 夏目漱石

發行者 東京都千代田區神田一ツ橋二丁目三番地 岩波雄一郎

印刷者 東京都青梅市根ヶ布三八五番地 山田一雄



發行所

東京都千代田區
神田一ツ橋二ノ三
株式會社

岩波書店

落丁本・亂丁本はお取替いたします

目次

斷	片	(明治四十年、四十一年頃)	三
斷	片	(明治四十一年初夏以降)	三四
日	記	(明治四十二年三月二日より八月二十八日まで)	五一
斷	片	(明治四十二年一月頃より六七月頃まで)	九九
日	記	(明治四十二年九月一日より十月十七日まで)	一二六
日	記	(明治四十三年六月六日より七月三十一日まで)	一五一
斷	片	(明治四十三年夏胃腸病院入院中頃)	一八〇
日	記	(明治四十三年八月六日より明治四十四年一月二十一日まで)	一八八

注 解

解 說

二四
二五

断片 — 明治四十年、四十一年頃 —

○Relation カラ起ル beauty.

1) Formal. — Proportion

2) Substantial—

例へバ小説

第一篇 — 第二篇 — 第三篇

二ハ一ニ depend シテ面白ク。三ハ一ト二ニ depend シテ面白イ必ズシモ independent ニ面白クナクテモヨイ。カハル場合ニ起ル面白味ハ relation ヨリ起ルナリ。relation ノ面白味ニハ (1) *causal* 是ハ時ニ *refer* ス。(二)ガ(1)ノ evolution トシテ出テクルコヤ。(2)ガ(3)ノ cause ニナルコヤ。凡テ是ニアツテハ時間ノ function デアル。(2)ハ *spacial* 是ハ Lessing ノ所謂 pictorial ナル者ナリ。Lessing ハ poetry ノ es-

sence トシテ時^際ニ入レタリ。然レモ必ズシモ同時ニ起ル objects 若クハ incidents ノ pleasure ヲ picture ニ限ル必要ナシ。(一)(二)(三)(四)(五)ガ時間ノ關係ナク小説ノ chapter トシテ排列セラレタルキニ其排列ノ順序如何ニ因ツテ pleasure ニ差違ヲ生ズルコハ疑フベカラズ。Harmony, Contrast, Variety, Unity ノ感ヲ起スガ如シ。此ウチニ objective relation ト subjective relation トヲ區別スルヲ要ス。双方共 pleasure ナリ。Ob. Relation トハ時ニ於テ(1)(2)(3)ト causality ヲ結バザルモ(1)(2)(3)(4)ノ各 chapter 若クハ element ガ其自身ノ性質上互ニ關連スルナリ。subjective relation トハ其 chapter ヲヨム人ノ心ニ感想ノ relation ガアルノシニテ(1)(2)(3)(4)ノ chap. ノ contents ニハ objectively ニ relation ナキモ可ナルナリ。

○小説ニテ character ノ evolution ヨリ出來ル pleasure ハ時ニ depends

○ Incident ノ evolution ヨリ出來ル

pleasure モ時ニ depend ス

○ picaresque novels or Romance ヨリ出來ル pleasure ハ *causal* ナラズ。Picture ノ series ヲ見ルガ如キ者ナリ其 each picture ガ面白ケレバヨキナリ。plot ガナクテモ causality ガナクトモ構ハヌナリ。

○ Novel トサヘ云ヘバ evolution ト離ルベカラザル者ト思ヘリ。然シ Evolution ナクシテ面白キ者アルヲ忘レタリ。忘ルノニアラザレモ譯ガワカラヌナリ。

○ Objective Relation ニヨリテ興味ノ變化スル場合
Oth. Now, by yond marble heaven,

(Kneels) In the due reverence of a sacred

vow

I here engage my words.

Iago Do not rise yet,

「Kneels」 Witness, you ever-burning lights

above

You elements that clip us round about,

Witness that here Iago doth give up.

..... Othello Act III sc. iii

是ハ悲壯ナル感じヲ起ス句ナリ。然シ其悲壯ト云フ意味ハ Oth. モ Iago モ dead earnest ナルコトヲ presuppose セザル可ラズ。同時に noble cause ニ身ヲ委ネルコトヲ presuppose セザル可ラズ。出來得ベクンバ Oth. ト Iago ガ君臣ハ刎頸ノ盟アル義士ナルコトヲ Presuppose スルコトヲ要ス。若シ然ラザレバ悲壯ノ感ハ起ラズ。所ガ實際ハ Iago ハ earnest ナラズ Othello ハ earnest ナレモ noble cause ノ爲メニ earnest ナルニアラズ。

Othello

Iago

Othello

relation

○Objective Relation (1) Othello ノ場合 ○ハ Othello

全體ヲ示ス△ハ Othello ノ此句ヲ意味ス。スルト
○・△ノ興味ハ○ノ性質如何ニヨリテキマルナリ。
Iago ノ△(句)ノ興味モ彼全體ヲ示ス○ト此句△ト
ノ relation ニヨリテ大變異ナツテクル。又 Othel-
lo ノ全體○ト Iago ノ全體○トノ性質ニヨリテ其對
話(即チ上ノ二人ノ句ヲ sum シタル者)全體ノ興味
ハ異ナツテクル。

同書 Act III sc. IV. ニ Othello ガ Desdemona ノ
手ヲ見テ暗ニ自己ノ怨恨ヲホノメカシテ其貞節ナキ
ヲ見露ハサントカムル所アリ。

This argues fruitfulness and liberal
heart;

Hot, hot, and moist: this hand of yours re-
quires

A sequester from liberty, fostering, prayer,
Much castigation, exercise devout;

For here's a young and sweating devil
here,

That commonly rebels. 'Tis a good hand,

A Frank one

是ハ Hamlet ノ Ophelia ニ對スル語ト同ジ様ナ感
ヲ起ス(單獨ニ見レバ)然ルニ事實上ハ左様ナ感ガ
起ラスノハ矢張 Othello ナル全體○と△ナル此語
ノ relation ガ Hamlet ナル○ト△ナル Ophelia 對
ノ語トノ如キ relation ヲ有セザレバナリ

○Othello ノ case デハ Othello ハ Des. ノ心
ヲ見抜クノガ主意デアル。此語其者ハドウデ
モヨイ。此語ヲ借りテ自分ノ主意ヲ貫ケバイ
ハカラ。此語ニ importance ハ attach シテ
居ラス。夫ダカラ、探偵的ナ文句デアル。毫
モ感情ガ起ラナイ。pathetic ナ心細イ憐レナ
感ガナイ。

○Hamlet ハ Ophelia ニ對シテソシナ探偵的

態度ヲトツテ居ラン。彼ノ云フコニモシ虚偽

ノアル者ガアルトスレバ夫レハ自己ヲ隠ス爲
メデ消極的デアル。Othello は積極的ニワル
ガシコク出テ居テ居ルニ反シテ Ham. ハ自
衛的不得已的ノ中ニ大ニ同情ヲ表スベキ所ガ
アル

○Ham. ノ Ophelia ヲ愛スルハ Othello ノ
Des ヲ愛スルガ如クデアラウ。然シ Ham.
ノハ他ノ duty ノ爲ニ Oph ヲステルノデア
ル。其ウチニハ一種云フベカラザル forlorn
ナ所ト邪見ノ様ナ底ニ纏綿ノ情ヲ想見スルコ
が出来ル。Othello ハ Des. ヲ罰シ様ト云フ
ノデアル。彼ノ語ノ hysteric ナルハ bloody
ナル hysteric デ幽玄ナル情緒ガ突梯ナル言
葉ヲカリテアラハレタ者トハ見ヘヌ。Sacrifi-
ce ノ言語ニアラズシテ利害ノ念。得損ヲ含
ンタル商賈的ナ文句デアル

○此 Evolution ト Pictorial ノ關係ハ短ニ小説杯
ノ chapter ノミナラス。Paragraph ニモアリ

○Paragraph ノ evolution ハ order ナリ one sen-
tence ガ naturally ニ another sentence ニ fol-
low スルコナリ。Naturally トハ如何。

1) Naturally ノ meaning ハ intellect ハ
law ニ逆ハズシテ logical requirement ヲ fulfil
スルコトナリ (小説ノ chapter 杯デ charac-
ter ノ evolution ガ自然ナリト云フノハ多クノ場
合ニ於テ矢張り Empirical ナ intellectual law
即チ今迄ノ experience ヲ sum up セル者ヲ re-
peat スルガ故ニ natural ナル場合多シ)。又 log-
ical sequence ノ自然ナルハ Mathew Arnold ハ
例ヲ見ルベシ

2) Emotion ノ law ニ逆ハズシテ之ヲ fulfil
スル order ナリ。one sentence ハ next sen-
tence ノ relation カラ生ズル emotion ガ hitch

ヲ感ゼヌ場合ナリ。此場合ニハ logical sequence
ヲアル程度迄 neglect スルヲ得。アル Poem ノ
如シ

○Paragraph ニモ evolve セザル者アルカ。矢
張り只ニ連續セル者ニテ intellectual ニモ emo-
tional ニモ relation カラ pleasure ノ生ゼヌ者
モアリ得ベシ。即個々ノ sentence 丈ノ emotion-
al or intellectual value 丈デモツ者。Carlyle
又 Emerson ノ如キハ其例。

○Greek ノ Symmetry ヲ重ンズル議論。Aristotle ノ
plot ニ重キヲ置ケル議論 参考

○Addison ノ Imagination ニ appeal スルト云フ
criticism (Locke ノ Association of Ideas ヨリ脱
化セ)

○Aristotle ノ Plot ハ relation ニ過ギズ而モ action
ノ relation ナリ。又 aim アル action ノ relation

ニ過ギズ。

○結構

×人間の activity の普通の活動を陳腐なりとして、
異常の活動を寫さんとするときには此異常の活動を
possible にする situation が入用である。此 situ-
ation を作るのが結構の一ノ目的である。だから此目
的の爲めの結構は自然を缺いても無理でも仕方がない。
思ひ通りの situation ニナレバヨイ。(Merchant of
Venice の Antonio が一度に多數の船を失ふが如きを
云ふ)

×結構其ものが目的の場合がある。人間はまとめる事
が好である。生存競争^原上の必要にせまられて、まとめ
つゝ進んで來た習慣は何事をも(生存競争に必要な
き事迄も)まとめたくなる。

自然は存外まとまらぬものである。だらしないも

のである。之をまとめたがるのが人情である。従つて此人情を満足させる時には不自然になる事がある。それでもまとめる方を好む場合がある。結構を目的にする場合にも(此故に)自然を標準にする事は出来ん。よく纏つたと云ふ事を標準にする。

×此場合に於ては孔明、正成の軍略を賞する如く結構をほめる。孔明や正成の軍略は自然ではない。自然を離るゝ尤も甚しき人工的のものである。あるにも拘はらず如何にもうまいと云つてほめる。結構も此態度から其 skill や ingenuity をほめる。自然と隔たれば隔たる程ほめる場合がある。

×従つてまとめる爲めには作中の人物の自由行動を束縛する事がある。多人數會合の相談の際に多人數を自由に働かしては決してまとまらない。まとめる爲めには壓制が必要な場合がある。無理でもまとめる場合がある。小説も其通りである。

×まとめる爲めには人事上一人の權力に自己の自由を

委任する事が必要な時がある。従つて個人主義の世界には纏まりがつかない事が多い。個人主義に渴仰するとまとまらなくても仕方がないとあきらめる。まとまらないでも自由行動がいくと云ふ氣になる。従つて、まとまらないもの事を見聽しても左程氣にかゝらない。

×此傾向が自然と小説にもあらはれる。乃ち讀者が小説に對して「まとまる」事を要求しなくなる。作家も無理にもまとめる事が必要でないと思ふ様になる。従つて結構はまとまらないでも作中の人物が其性格に應じて自由自然に働らく様にする。

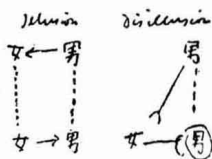
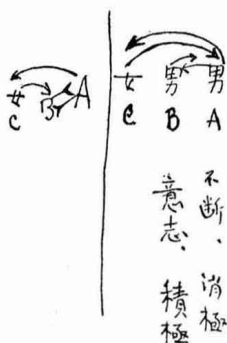
×花其ものは小説の内容である。活花の方法は結構である。Arrangement が面白いのは結構其ものが面白いのである。此結構の爲めに花が引き立つのは結構を方便にした場合である。此花と他の花を配するのは結構の一である。その爲めに甲の花が乙の花に關係して互に美を發揮するとせば結構は方便である。甲は甲で

面白く、乙は乙で面白ければ結構其物が面白いのである。甲はつまらないが乙を添へて始めて面白くなるのは結構……。甲も面白い、乙も面白いが並べると御互に害をするのは結構がまづい

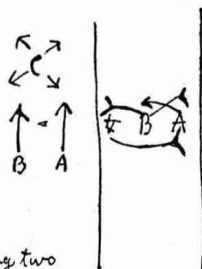
單獨の價值、Relation / 價值。照應、contrast 云々

Proportion。變化。unity。繁簡の對

の活動



○Great literature は tragic ダト云フ。或人其意味を説明して final ダカラト云フ。是ハ eternal ナ落着ト云フ義カモ知レヌ (Hale の Dramatists of To-dayヲ見ヨ)。余思フニ tragedy ハ人ヲ眞面目ニスル。(是ハ誰モ異議ハアルマイ) 然シソレガ何故 great ニナルカ。眞面目ニナツタ時始メテ人間の moral being ガ活動スルカラデアル。人ニカラカツタリ、人ヲイデメタリシテ不埒ヲヤツテ恬然タル動物モ其人ガ惨死ヲ遂



nursing two
Silence - bed of death

flood

station 243

hypocritical women

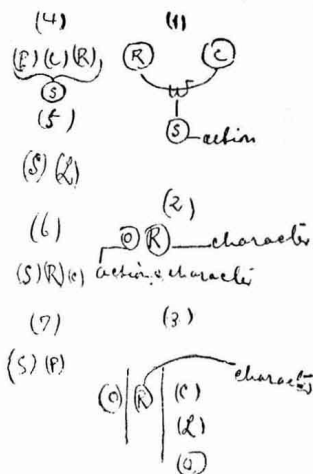
ケルキニ始メテ悚然トシテ本來ノ我ニ歸ルカラデアル。

喜劇ガ忽然ト悲劇ニ變ズルハ此時デアル。lifeノpositive sideヲ無暗ニstretchシテ行クト急ニnegative sideニ歸ル。其時彼等は始メテlifeニハnegative sideガアルカト氣ガツク。lifeハ唯一ノ目的デアル。而シテpositiveノ方面ニ進ンデ種々ナルqualityニintroduceスルノ結果ハ人々皆absurdityニ陷ル。彼等はlifeハ何ニ耽ツテモ、如何ナルヲシテハabsolutelyニsecureデアルト自覺スル。所ガpositiveノ方面ニ無暗ニ進行スルト彼等の第一目的タルlifeノbare existenceト矛盾スル。彼等ハ此矛盾ト當面ニ相見エタキ始メテ生活ノ第二意義ヨリ第一意義ニ歸ル。而シテ自己ノ行動の從來ハ輕佻デアツタト云フヲ切實ニ自覺スル。如何トナレバ彼等ハ今迄生活の第二意義の爲メニ第一意義ヲ忘レテ居タカラデアル。因果ト云ヒ天罰ト云ヒ應報ト云フハ皆此根本義ニ逢着シタキノ語デアル。

喜劇ハ道德ヲ抽出スル。而シテ道德ハlifeノ根本義ヲ維持スル上ニ於テabsolutelyニ必要デアル。故ニ喜劇ノ多クハlifeノ第二義ニ墮ツル者デアツテ、lifeノ第一義ニ觸レル者ハ必ズ道德問題ヲ含ンデ居ル。而シテ道德問題の尤モ深キモノ、表現ハtragicデアル。tragedyニ於テ始メテ此道德問題の重要ナルコガ明瞭ニ分ツテクル。是ダカラ古來カラ悲劇ハ喜劇ヨリモ重要視セラル、ノデアル。(コンナ説ヲ述ベタ人ガアルカナイカ知ラス。然し是ハ眞理デアル。何人モ打チ壞スコノ出來ヌ眞理デアル)

人間ガ尤モ痛切ニ人生ノ根本義ヲ覺ルノハ。今迄喜劇ダト心得テ面白半分ニ道德ヲ重ンゼズ無暗ニ進行シテ來タ事件ガ卒然トシテtragic endニ終ルキデアル。其時人間ハ始メテ喜劇ヨリモ大切ナモノガアルト云フコニ氣ガツク。道德ノ大切ナコニ氣ガツク。面白半分ニ騒ギ立テタノハ根本義ト遠ザカツテ居タコニ氣ガツク。此根本義ノ念ヲハツト思ヒ出ス爲メニハ悲劇デナ

クテハ出来ヌ。

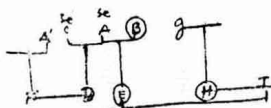


○暴風^{*}のとき漁船が岸へ這入りソコネタ。遙かの沖に大きな波を控へて見えたり隠れたりする。村のものは老若男女をつくして磯へ立つてゐる。腰へ綱をつけて海へ飛び込んで舟を引いてくるのである。夜は篝をたき盡して翌日の午後三四時迄かゝつたさうだ。此間老若とも一言も交へなかつたさうである。老若とも一椀

の飯も食はなかつたさうである。(高須賀淳平が小田原から歸つての話)

○四十年ノ五月場所に常陸山が梅ヶ谷に負けた。勝負後双方の部屋の様子が新聞にあつた。梅ヶ谷の部屋は歡聲湧くが如くなるに引き易へて常陸の方は並んでゐる力士がみんな無言であつたさうだ。其中に小常陸と云ふのが、だまつてぼろ／＼と涙をこぼしたさうだ。

- 一* 叡山。死、D、F、
二 保津川 童、女
三 E、I
四 F、G、H、
五 D、B
六 F、I、
七 D、E、
八 B、E、D、F、



- 九 D、I、
 十 I、
 十一 G、
 十二 F、[®]
 十三 E Death
 十四

○ *Dialogue* (character in) *The Academy* June 8, 1907.

Action ト situation ノ爲メノ會話ト character ヲアラハス爲ノ會話トハ違フ。

○ Character ヲ dialogue デアラハシ得ル人ハ——

Ibsen, Meredith, Pett Ridge, W. W. Jacobs.

○ アラハセヌ人ハ

Pinero, Hardy, etc. Shaw

○ James ハ dialogue ヲ用ヒズシテ character ヲアラ

ハシ得ル人ナリ

○ Oscar Wilde モ character ヲアラハスガ出來ル。

The Woman of no Importance when Mrs. Al-lonby tells Lady Hunstanton that she is going to look at the stars.

“You will find a great many, dear, a great many!”

That is a perfect specimen in dialogue.

○ 修飾ナクシテ effect アル句。

(1) 句自身ガ或ル sense ニ於テ bedeutungsvoll ナル時、即チ内容ガ one way or other ニ rich ナル時

修飾ノ必要ナクシテ修飾以上ノ効能アリ

(2) ハ law of transference ニ depend ス。前後ノ關係カラシテ眞率ナル一句半句モ必然ノ勢大變ナ效果ヲ生ズ。此場合ニ於テハ此句ヲ切り離セバ一文

ノ價ナシ。

(此 law ヲ研究スルハ文學ノ dynamics ノ一部分ナリ)

之ヲ extend スレバ一句ノ場合ノミナラズ one scene, one action 皆前後ノ關係ヨリ非常ノ importance ヲナス。然シ切り放セバ平凡トナル。

○以上ノ意味ナクシテ effective ナラントスルハ普通ノ修辭ガ必要トナル。

○此故ニ Art ハ三種トナル (1) ornamentalisation (2) materialisation (3) juxtaposition

○三ノ關係ヲ極ムレバトナル。只主眼ガ違フ。第一義トスル所ガ違フ。

○第一ヲ formula ニ deduce スレバ $f + f$ 又ハ $f - f$ トナル

○第二ヲ formula ニ deduce スレバ f トナル

○第三ヲ formula ニ deduce スレバ $f + f$ 又ハ $f - f$ トナスヲ妨ゲズ

○故ニ artless ナル literature ヲ主張スル人ハ第一

ノ意味ニ art ヲ狭メタル人ノ言ナリ

○第三 Juxtaposition ノ art ハ

- a causal juxtaposition
 - b associative juxtaposition
 - c proportional juxtaposition
 - d culminating juxtaposition
 - e circumscribing juxtaposition
 - f harmonious juxtaposition
 - g contrasting juxtaposition
 - h juxtaposition satisfying will (?)
- etc.

○反動。(1) 支那詩。(2) 十九世紀ノ nature。(3) *Naturalism*

(4) 自分ニナイ物

○Arrangement ヨリ起ル interest. *La Faustine*,

Rudin

○分化作用 ^{*}La Faustin Rudin

○Brunetière 曰ク

× Romanticism—observation, ego, lyricism, realisation of beauty, choice of subject, “soul-state.”

× Naturalism —representation of life, no choice, scientific, objectivity.

○漱石曰ク

× ^吾ト^物 此二個ノ separate existence ヲ假定ス。

○スルト文藝ハ (1) representation of ^社

(2) representation of ^物

トナル。然シ(1)モ(2)モ represent セラレルモノト represent スルモノトガナゲレバナラヌ。從ツテ(1)ハ^吾對^吾トナリ(2)ハ^吾對^物トナル。引キクルメテ云ヘバ^吾對^{吾モシクハ物}トナル。文藝ノ流派ハ此對ノ一字ヲ研究スレバ足ルコトナル。詳言スレバ representation ノ subject ガ represent セラル、object (吾ト物トヲ含ム)ニ向フ態度デ決スルコトガ出來ル。此態度ハ absolutely ニ一ナレバ文藝ニ流派ヲ生ズルコトアリ得ベカラズ。而シテ此態度ハドノ位ニワカレ得ルカヲ斷ジ得レバ文藝ノ流派ハ最初ヨリ豫想出來ル。之ヲキメルノハ矢張陳腐ナ方法ニヨル。人間ノ faculty ノ大別カラシテ此大別サレタ faculty ノ predominate シタ態度デアル

(1) intellectual attitude

(2) emotional attitude

(3) volitional attitude